

2024年3月31日

臨床データ利用のお願い

海南病院では、以下の研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることをご希望されない場合などお問い合わせがありましたら、お手数ですが以下の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

当院における腹膜透析患者の体液量管理
～ドライウェイトに対するアラート値設定の効果～

2. 研究責任者 海南病院 5C病棟 服部仁美

3. 研究の概要

腹膜透析患者さんに対し、ドライウェイトを設定、また、ドライウェイトからの体重増加率のアラート値（注意する値のこと）を設定し、介入することの効果을明らかにし、体液量管理の質向上及び、患者さんの生活の質向上を目指します。

4. 研究方法

① 対象となる患者さん

2019年1月～2020年12月に継続して通院した腹膜透析患者26名

② 使用する試料等

残余検体：なし

カルテ情報：性別、年代、原疾患、腹膜透析経験歴、糖尿病の有無、

腹膜平衡機能検査心胸比、hANP値、下大静脈径（IVC）、尿量、腹膜透析除水量

5. 個人情報の取扱い

貴重な患者さんの個人情報は、「個人情報保護法」及び「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」など各種法令に基づいて管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

6. 問い合わせ先・相談窓口

JA愛知厚生連 海南病院 5C病棟 服部仁美
電話：0567-65-2511（代表）